

令和6年10月2日
四国地方整備局
西日本高速道路株式会社

道の駅「いたの」が高速道路の立ち寄り施設に

～高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験を開始～

高速道路ネットワークを賢く使う取組の一環として、休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現するため、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を、現在全国26箇所の道の駅を対象に実施しております。

この度、新たに道の駅「いたの」において、社会実験を開始いたします。

高速道路からの乗り降りを自由とし、道の駅への立ち寄りを可能とした一時退出社会実験については、高速道路利用者が、休憩や買い物、食事、周辺の交通観光情報の入手、「道の駅」が提供する多様なサービスを利用可能となります。

また、「道の駅」においても、広域的な利用者増加による地域活性化が期待できます。

○ 開始日時：令和6年11月6日（水） 0時から

○ 実施箇所：E11高松自動車道 ^{いたの}板野IC
道の駅「いたの」（徳島県 ^{いたの}板野郡 ^{いたの ちょう}板野町）

○ 内 容：ETC2.0搭載車を対象に、^{いたの}板野ICで流出し、道の駅「いたの」に立ち寄り後、2時間以内に同ICから再流入して順方向にご利用された場合、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整します。

【問い合わせ先】

○ 施策に関すること

国土交通省 四国地方整備局 道路部 交通対策課 TEL：087-811-8351（直通）
（担当）交通対策課長 和田耕治（内線4511） 課長補佐 古川俊彦（内線4512）

○ 料金に関すること

NEXCO西日本 お客様センター TEL：0120-924-863
※フリーダイヤルをご利用になれない場合 TEL：06-6876-9031 [有料]

一時退出実験試行箇所(板野IC～道の駅「いたの」)

E11高松自動車道の板野ICに近接する道の駅「いたの」は、特産物直売所、レストラン及び軽飲食コーナー、EV急速充電器や全国初となる道の駅併設の移動式水素ステーションも整備されているほか、大規模災害に備えるためヘリポートや耐震性貯水槽等も備えており、重点「道の駅」及び防災「道の駅」にも選定。



～ 道路利用者向けの提供サービス ～

＜観光案内・外国人案内所＞
まちの観光等PRを行う。



＜EV急速充電器・移動式水素ステーション＞



＜直売所＞
地元農産物や加工特産品及び生鮮食品を販売



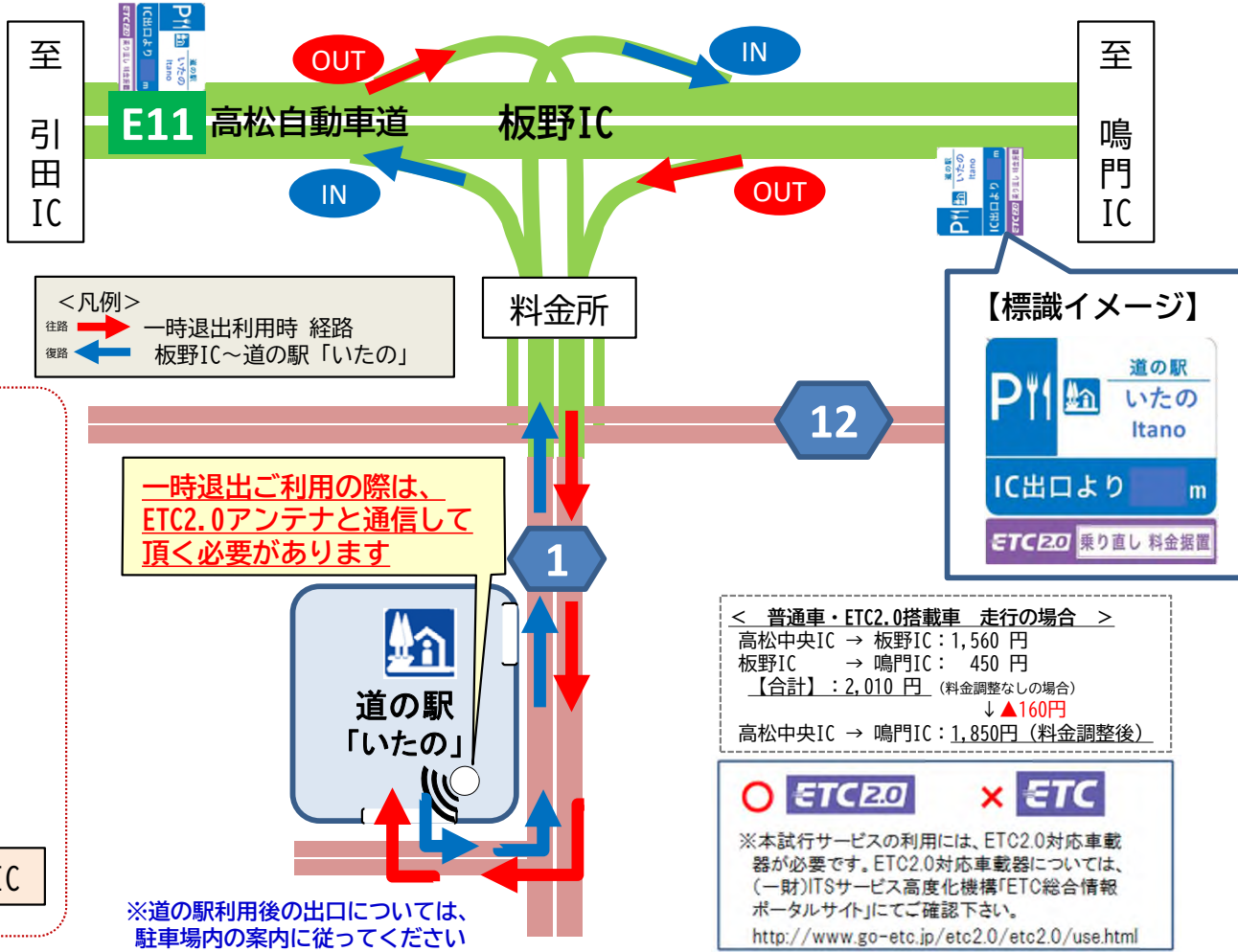
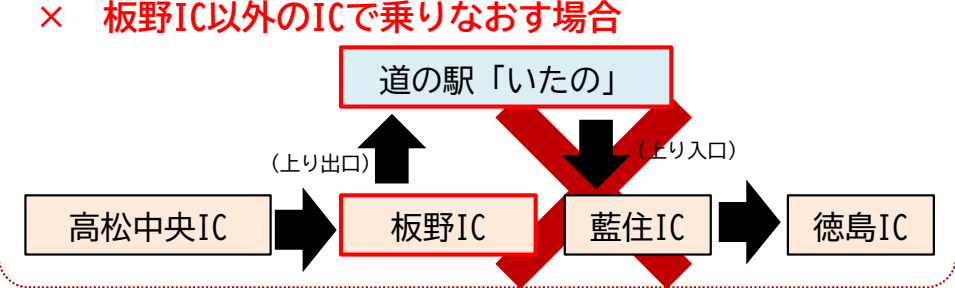
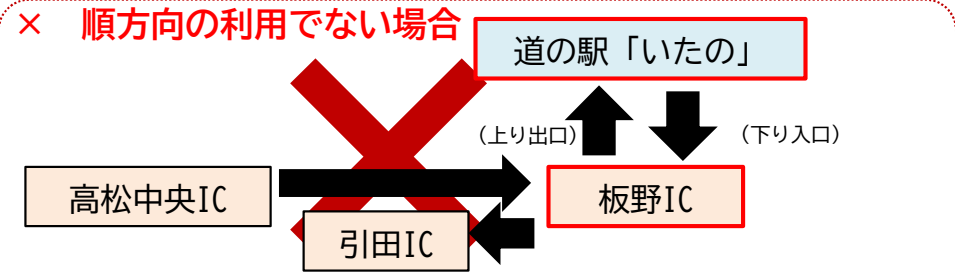
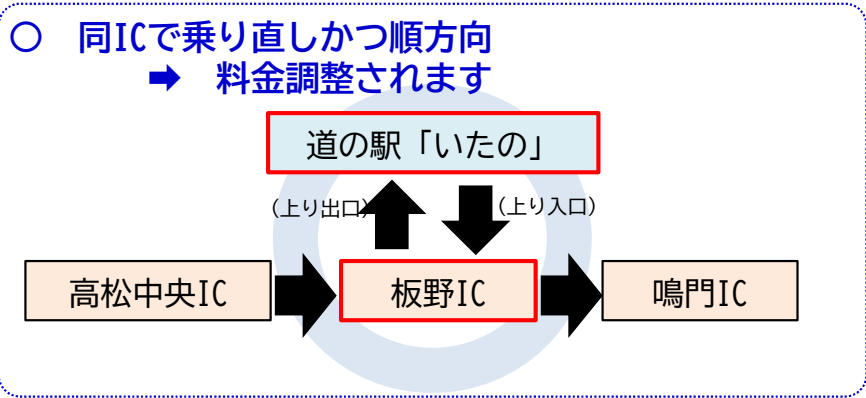
＜24時間利用可能なトイレ＞
24時間利用できるトイレは、道路情報発信、公衆電話を設置した休憩施設として整備



一時退出実験試行箇所(板野IC～道の駅「いたの」)

- 利用条件
- ① ETC2.0※搭載車が対象です。全行程で同一のETCカードをご利用ください。
係員のいるレーンでETCカードの手渡しによる料金の精算をされる場合は、ETC2.0対応車載器を搭載している旨お申し出下さい。
 - ② 板野ICで乗り直しかつ順方向の利用のみ料金据置となります。
 - ③ 道の駅「いたの」に必ず立ち寄る必要があります。(出口付近のETC2.0送受信機を通過してください)
 - ④ 板野IC退出後、2時間以内に板野ICから再流入してください。

一時退出した場合でも、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整します。
【料金表示器では料金調整前の金額が表示されます。後日、カード会社等から請求させていただく際に、料金調整後の金額となります。】



社会実験対象の道の駅

R6.10時点

□ : 現在実験中の道の駅(点線:準備中)

□ : 今回実験を開始する道の駅

